



# もとみや 議会だより

第 71 号

令和 4 年 7 月発行

おいしいおやつ時間！  
(みずいる保育所)

議案審議 ..... P. 2～3  
一般質問 9 名が登場 ..... P. 8～13  
令和 3 年度政務活動費の使い道を紹介 ..... P. 14～15

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>  
メールアドレス [gikai@city.motomiya.lg.jp](mailto:gikai@city.motomiya.lg.jp)



# 各会計補正予算など 24議案を可決

# 定例会 6月

6月定例会（第3回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計補正予算など22議案と報告8件、議員から発議2件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を同意および可決をしました。

また、陳情1件が提出され、審議の結果、採択となりました。

なお、今回の定例会も新型コロナウイルス感染症対策のため、議場のドアを開放し、議員は座席の間隔を空けて座り、マスク着用で行われました。

国民健康保険の税改正			
項目		令和3年度	令和4年度
所得割	医療給付費分	7.35%	6.00%
	後期高齢者支援金分	2.70%	2.30%
	介護納付金分	2.25%	2.00%
均等割	医療給付費分	22,400円	20,000円
	後期高齢者支援金分	8,200円	8,000円
	介護納付金分	8,200円	8,200円
平等割	医療給付費分	18,600円	17,000円
	後期高齢者支援金分	6,500円	6,000円
	介護納付金分	4,500円	4,500円
一人当たりの税額		97,964円	89,691円
一人当たりの税額伸び率		—	91.56%

## 国民健康保険税

前年度比8・44%（8,273円）の引き下げ

6月定例会は、その年度の国民健康保険税率の改正を行うことから、通称「国保議会」とも呼ばれています。

今年度の国民健康保険税率の算定については、平成30年度から財政運営が県に移行され、県から示される納付金、並びに、被保険者の所得額確定に基づいて行いました。被保険者の負担の公平性を図るため、応能・応益割について調整を行い、財源不足分については令和3年度国民健康保険特別会計の繰越金を充てることにより、今年度は一人当たりの税額を引き下げることとなりました。

# 一般会計補正予算（第2号） 3億8,391万円を増額

令和4年度

## 《一般会計補正予算（第2号）の主な内訳》

### 歳出

新型コロナウイルスワクチン集団接種委託料等…	1億601万円
多世代交流施設整備工事…	8,722万円
財政調整基金積立金…	5,364万円

### 歳入

地域福祉基金繰入金…	8,958万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金…	7,755万円
財政調整基金繰入金…	6,406万円



## 一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルスワクチン  
集団接種・巡回接種関連経費  
などを計上

今議会に提出された令和4年度一般会計補正予算（第2号）の主なものは、新型コロナウイルスワクチン集団接種・巡回接種に要する関連経費ほか、令和4年度住民税非課税世帯に対する住民税非課税世帯等臨時特別給付金や低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別交付金、多世代交流施設「あぶくま憩の家」多目的ホールの整備工事にかかる工事請負費などが計上されました。

## 議案質疑

恵向公園グラウンドゴルフ場の  
設計費について

**問** 建設新聞に工事の入札が行われ落札業者も決まったと出ていたが、なぜ今回補正で設計の委託料が出てくるのか。

**答** 先般行われた入札は、仮設住宅からの復旧工事であり、今回の補正は原形復旧以外の部分で新たにグラウンドゴルフ場の整備を行うための設計である。

## 人事

今定例会では、初日に農業委員会委員の任命について議案が上程されました。いずれの委員の任命についても、全会一致で同意しました。任命された方々は次のとおりです。

### 農業委員会委員

川名 良子氏（本宮字小幡）	根本 功氏（高木字根岸）
遠藤栄太郎氏（荒井字大久保）	遠藤 政幸氏（青田字萱林）
阿部 修司氏（関下字仲之内）	佐藤 一徳氏（和田字対馬内）
菊地 弘子氏（和田字上百前）	遠藤 正任氏（糠沢字鴨内）
石橋 廣基氏（白岩字黒内）	三瓶 和彦氏（長屋字根廻）
渡邊 善幸氏（稻沢字宮ノ前）	船生 栄子氏（本宮字千代田）

## 総務文教常任委員会



▲みずいろ保育所現地調査の様子

総務文教常任委員会には、本宮市税条例等の一部を改正する条例制定のほか、議案2件、陳情1件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

### 一般会計補正予算

**説明** 市道改良により移設及び撤去を行った本宮小学校グラウンド工作物等の設置にかかる工事請負費を補正する。

**問** 本宮小学校グラウンド整備としての暗渠（あんきょ）工事の検討はされているのか。

**答** 具体的な計画はないが、グラウンドの雨水の対応については、専門機関に相談しながら、可能性を検討しているところである。

### 本宮市税条例等の一部を改正する条例制定

**説明** 個人市民税について、住宅借入金等特別税額控除の延長等に伴い、住宅ローン控除額が所得税で控除しきれなかった場合に、控除限度額の範囲で個人住民税より減額するため所要の改正を行うもの。

**問** 今回の改正による市民の負担の増加は。

**答** 市民ひとりひとりの税負担の増減については、各人により所得状況等が異なるため、一概には言えないが、住宅ローン控除に係る部分について、所得金額が2千万円以上の高額所得者は増税となる。一方、中所得以下の市民の方は、税額への影響はないと想定している。

### 現地調査

コミュニティ交流広場パークゴルフ場、みずいろ保育所の現地調査を実施した。

## 生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案4件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

### 平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定

**説明** 東日本大震災により避難を余儀なくされ、本市に住所がある方で、減免措置に該当する方を対象に国民健康保険税の減免を行う。

**問** 国民健康保険税の減免措置に該当する世帯数はどの程度いるのか。

**答** 減免措置に該当する方は令和3年度実績で、13世帯31名いる。

### 一般会計補正予算

**説明** 多世代交流施設「あぶくま憩の家」の整備工事を実施する。

**問** 多世代交流施設整備工事の概要についてどのような工事を行うのか。

**答** 今回整備する箇所はあぶくま憩の家の多目的ホール体育館部分の修繕工事であり、主な内容としては、震災及び老朽化により破損した内壁、天井、ステージ、建具などの修繕を行うものである。



▲委員会での審査の様子

## 産業建設常任委員会



▲コミュニティ交流広場パークゴルフ場現地調査の様子

産業建設常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第2号）のほか議案2件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。

### 一般会計補正予算

**説明** 荒井字南ノ内外道路等測量設計業務にかかる経費を補正する。

**説明** 都市計画決定支援業務にかかる経費を補正する。

**問** 用途設定の今後の方針は。

**問** 企業進出前の測量設計の必要性は。

**答** 用途の種別は、商業まちづくり基本構想のエリア設定に基づき、現状では近隣商業地域の用途設定を予定している。地区計画を併せて設定すること、ある程度の企業の誘導と規制を図っていくものである。

**答** オーダーメイド方式による企業立地の推進のためには、タイミングを逃さないよう迅速なインフラ整備が必要であるため、これまでも先行して測量設計を行っていた経過があり、今回も同様の取扱いとするものである。

**問** 用途地域の拡大や変更の考え方は。

**答** 今回は本宮インターから一定の距離内である地域への新たな用途設定を予定しており、既存の区域の変更については予定していない。

### 現地調査

コミュニティ交流広場パークゴルフ場、市道大山・松沢線工事箇所、令和4年6月11日豪雨被害箇所での現地調査を実施した。

## 五百川駅整備検討特別委員会

### 提案理由

平成30年に、五百川駅前広場整備検討委員会により、短期的な課題と長期的な課題を整理しながら、よりよい駅前広場整備を目指すこととした、整備方針、提言がまとめられた。

そのなかで、短期的な課題として検討された、朝夕時の混雑緩和と危険な現状を回避するために、このたび、五百川駅駐停車場整備の計画案が示された。

これは、混雑解消や安全確保に資するものであり、最優先事業であると認識しており、五百川駅の利便性、快適性の向上のためには、利用者の意見が十分反映された整備が望まれることから、五百川駅の利活用について、調査・研究を行う必要があると考える。

### 五百川駅整備検討特別委員会

委員長	作田 博	
副委員長	渡辺 秀雄	
委員	根本 利信	遠藤 初実
	石橋今朝夫	橋本 善壽
	川名 順子	伊藤 隆一
	渡辺 忠夫	渡辺 善元

6月17日の定例会最終日に、五百川駅整備検討特別委員会の設置について議員発議が提出され、質疑・討論・採決の結果、全会一致で可決されました。なお、委員長に作田博議員、副委員長に渡辺秀雄議員が選任され、他8名の議員が委員となりました。

## 本会議での討論

6月17日の本会議で、議案第58号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

### 議案第58号 本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

令和4年度の国民健康保険税の税率等を改正するものです。税率等の詳細は2ページのとおりでです。

#### 反対討論

渡辺忠夫 議員

一つ目には、保険税の限度額が引きあがるということには賛成できない。  
二つ目は、税の公平性を図るため応能割均等割や平等割の比率を50対50にするものですが、この割合の結果は所得の多い人には影響がありますが、所得の少ない人にはあまり影響がないと思われる。  
最後に、住民の命と健康を守るため、制度の改革を提案しているが、均等割や平等割が国保税を高くする要因となっていることは承知のとおりである。特に、子ども数が多いほど負担が引きあがる均等割には、まるで人頭税だ、子ども支援に逆行しているという批判がおこり多くの団体が見直しを要望している。自公政権は2022年度から就学前の子どもに限り均等割の一部軽減をするが、制度の害悪の解消にはならぬ。  
均等割、平等割を無くして所得割のみとするべきである。

#### 賛成討論

菊田広嗣 議員

国民皆保険制度は、国民すべてがいつでもどこでも安心して医療が受けられる最後の砦となっているが、年金受給者が多く加入していることで医療費が増加する一方、低所得者の加入割合が高くなっていることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う収入減、さらには、原油価格や物価の高騰による家計への対応も考慮しながら、健全な運営に努めていかなければならない状況にある。  
このような情勢の中、今年度の国保税については、税調整の不足分に財政調整基金を充て、一人当たりの税額を引き下げ、負担の公平性を図るため、応能割・応益割を50対50に調整を行ったものである。  
この一人当たりの税額引き下げは、国保に加入しておられる全ての方にとって、負担軽減を実感されるものと思っている。

## 6月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は7ページのとおりで全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会				新風会			志誠会		共	無所属									
議員名	田谷	石橋	磯松	渡辺	斎藤	川名	根本	三瓶	橋本	菊田	渡辺	遠藤	馬場	三瓶	菅野	渡辺	渡辺	伊藤	作田	国分
議案番号	長作	朝夫	俊彦	紀雄	雅彦	順子	利信	裕司	善壽	広嗣	忠夫	初実	亨守	幹夫	健治	秀雄	善元	隆一	博	勝広
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない  
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

# 議決結果一覧

## 議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第45号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第46号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第47号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第48号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第49号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第50号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第51号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第52号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第53号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第54号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第55号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第56号	農業委員会委員の任命について	同 意
議案第57号	本宮市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第58号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第59号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第60号	消防積載車の購入契約について	原案可決確定
議案第61号	令和4年度本宮市一般会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第62号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第63号	令和4年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第64号	令和4年度本宮市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第65号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第66号	恵向公園原形復旧工事請負契約について	原案可決確定
報告第3号	専決処分の報告について （専決第6号（新）本宮第1保育所建築主体工事請負契約の一部を変更する契約について）	
報告第4号	令和3年度本宮市継続費繰越計算書について	
報告第5号	令和3年度本宮市繰越明許費繰越計算書について	
報告第6号	令和3年度本宮市事故繰越し繰越計算書について	
報告第7号	令和3年度本宮市水道事業会計継続費繰越計算書について	
報告第8号	令和3年度本宮市水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第9号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計継続費繰越計算書について	
報告第10号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決確定
発議第5号	五百川駅整備検討特別委員会の設置について	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

## 陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者の氏名	審議結果
陳情第4号	令和4年5月19日	総務文教	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 啓	採 択

# 一般質問

# 市政を問う

6月定例会の一般質問は、9名の議員が2日間にわたって行いました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

9ページ：

■菊田広嗣 議員（志誠会）

- ・みずいろ保育所周辺の安全策は
- ・本宮小学校校庭周辺の安全について

■馬場亨守 議員（無所属）

- ・令和3年策定本宮市財政計画は

10ページ：

■磯松俊彦 議員（みらい創和会）

- ・市勢の持続的な発展について
- ・民間交流と市勢発展について
- 遠藤初実 議員（無所属）
- ・市営墓地公園について

・同型・同サイズの墓が好評

11ページ：

■斎藤雅彦 議員（新風会）

- ・弁天公園掘削の検討や効果は
- ・火災時の防災無線放送について
- 渡辺秀雄 議員（無所属）
- ・学校給食提供を統一の検討は

・新たな計画案では課題が多い

12ページ：

■菅野健治 議員（無所属）

- ・福島県沖地震の被害状況は
- ・災害復興特別見舞金について
- 石橋今朝夫 議員（みらい創和会）
- ・読書の楽しさを伝えて

・徹底した指導の考えは

13ページ：

■渡辺忠夫 議員（日本共産党）

- ・地域農業の担い手支援について
- ・均等割免除の年齢引き上げを





▲市道の補修を計画的に

**問** ①実質公債費率について令和12年11%になる。今後の借入債務は。また、県内59市町村あるが、現在値で11%公債費率、県内でいくつか。  
②維持管理補修費について市道は令和3年で13億先送りしているがどのように予算計画されているのか。

**答** ①令和12年起債残高は約167億円となる見込み。11%公債費率の自治体は県内で1市5町2村である。  
②昨年度9月に9000万円の補正増を行っている。本年度も同規模の予算を確保し、道路の維持補修にあたっていく。



**問** 令和3年策定本宮市財政計画は  
**答** 財政調整基金を十分な額確保

馬場 亨守  
議員  
(無所属)



**問** みずいろ保育所が、7月にみずいろ保育所として場所を移動して開所する。  
**答** 安全に通行人の安全策は

菊田 広嗣  
議員  
(志誠会)

喜ばしいが、そのような施設ができる場合、交通量の変化が伴う場合が多く、周辺の安全状況に留意しなくてはならない。どのような対策を考えているのか。

**答** みずいろ保育所については駐車場内で巡回できるようなルールを考えている。  
また、関根橋が令和5年度から架け替えの予定である。それまでは特に冬季の凍結など心配されるが除雪や融雪剤等対策をして安全に通行人ができるよう対応する。

**問** 本宮小学校校庭北側のカーブのすぐ先に横断歩道があり、危険に感じるが対策は。  
また北側のネットが空いている箇所から児童がボールを投げたり、道路に出る事案があると聞いたが、ネットを張る、縁石を追加する等対策すべきと考えるが。

**答** カーブ先の横断歩道については路面に減速表示の立体シートを設置し安全確保を図っていく。  
また、児童が校庭から車道に上がる件については児童に十分指導するとともに、児童が物理的に上に行けないように対策を考えていきたい。

**問** 本宮小学校校庭周辺の安全について  
**答** 更なる安全確保を図っていく

その他の質問

- ・新学習指導要領改訂後の現況について



▲児童のために道路環境の安全確保を



▲本市産業の魅力発信を



## 問 市勢の持続的な発展について

### 答 特産物の生産拡大に努めたい

問 民間交流と市勢発展について

答 地域団体と連携し、まちづくり展開

磯松 俊彦  
議員  
(みらい創和会)

問 本市代表的特産物の本宮烏骨鶏と白沢とろろ芋は旧町村時代に開発された。新市として対応はどうであったか。新しい特産物開発に向けて現状は。

また、本市産業の魅力周辺地域の皆さんに広く発信する展示会に取組んだ場合の効果は。

答 本宮烏骨鶏と白沢とろろ芋の販売推進に取り組んだ。引き続き生産拡大に努めたい。新たな特産物の開発については現在のところ進んでいない状況。

消費者への情報発信として物産展や展示施設などについては効果的であると考えている。

問 社会文化的な住民交流のため、公的な施設で活動できている団体があることを住民の方に知って頂ければと思うが、情報公開の現状は。地域のあり方を住民自らが考えるための支援についてどのように考えるか。

答 公民館で会員募集中の団体については一覧表にして案内している。今後、ホームページなどで市民の方へ周知を考えている。本宮市地域創生有識者会議で施策評価を実施し事業予算編成している。地域の団体と連携してまちづくりを展開していく。



## 問 市営墓地公園について

### 答 市営墓地の構想はない

遠藤 初実  
議員  
(無所属)

問 亡くなった知人の墓参りに他市の市営墓地公園に行った際、仕事で移住したり、実家から独立した人の定住条件に良いと聞いた。

答 市内の13の宗教法人管理の墓地26ヶ所、地域の共同墓地12ヶ所の墓地を案内している状況で、市民からの問い合わせはあるが、市営墓地公園の整備構想はない。

問 同型・同サイズの墓が好評  
答 計画や整備の状況はない

問 見てきた市営墓地公園は敷地も同一で、墓石が横長タイプで地震の影響もなく、一律型同型なので気楽さを求める現代人のニーズに合っている。管理しやすく景観も良いので公園に向いていると思うが。

答 公営であるための手軽さや分かりやすさのイメージの一方で、供養に携わるお寺とのつながりが薄れ、管理上の問題や無縁仏化が心配されるため、これまで培ってきた文化を大切に後世につなぐ精神を守る視点も大切である。



▲市営墓地公園の検討をしてみても



▲市内全校への提供の検討を

**問** 児童・生徒の減少傾向が続く中、学校給食の提供はセンター、自校方式と従来のままである。合併から15年もたつて状況もいろいろ変わってきている。課題もあると思うが一つに統一して提供できるよう検討すべきでは。

**答** 統一しての提供は経費面では安く済むが課題も多い。今後時期を見て給食センターの有りに関して、アレルギー対応等の給食、災害時の炊き出しの対応可能性など含め検討を開始出来ればと思っています。

**問** 五百川駅前広場の新たな整備計画案は、渋滞緩和と歩行者の危険回避にも十分とは思えない。都市計画マスタープランにある、駅を中心とした複合的なまちづくりを目指すためにも、先を見据えた整備計画を策定して意見を聞くべきでは。

**答** 最優先課題は、駅前の渋滞緩和と歩行者の危険回避である。当初提言のあった計画案が難しいため今回の案となった。今後の課題については、市民の皆さんの意見を受ける前に、まずはJRと協議を進め検討していきたい。

**その他の質問**

・行政区への加入促進について



**問** 学校給食提供を統一の検討は時期を見ながら検討できればと

**渡辺 秀雄**  
議員  
(無所属)



**問** 弁天公園掘削の検討や効果は

**答** 下流の市町村への配慮ではない

**齋藤 雅彦**  
議員  
(新風会)

**問** 今回阿武隈川緊急治水対策プロジェクトで実施された河道掘削の効果で東日本台風と同規模の洪水で水位はどの位下がるのか。  
また弁天公園の掘削は川の構造上必要だと考えるが、過去に検討は行われたか。弁天公園掘削の効果は。

**答** 遊水地を含めたプロジェクト全体の整備が進めば50cm〜1m水位低下が見込まれる。  
弁天公園掘削を行わなくても河川断面を河道掘削により確保できる。仮に弁天を掘削しても下流の和田地区が狭窄部となつて水が滞留することになる。

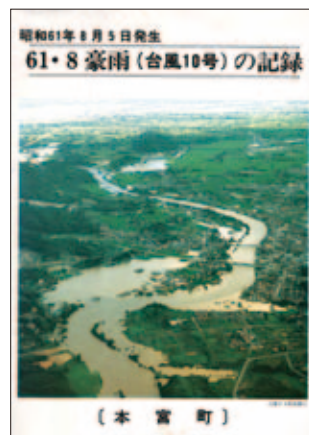
**問** 火災時の防災無線放送について  
**答** 防災無線での放送は今までどおり

**問** 火災時に防災無線で火災現場の情報を放送することで、現場近隣住民に危機感を持って頂き避難準備行動に繋がったり、地元分団OBや自主防災組織の方々が消火栓や水利を知らせて早期消化につながるのではないか。情報が放送されなかった理由は。

**答** 一斉に知らせると一般の方、火災見物人が道路をふさいで車両の妨げになり緊急車両が遅れたり、交通事故に遭つたりという二次被害がある。本部が消火栓や消化水利を無線で指示したり、中継水訓練を行つて水利の早期確保に務める。

**その他の質問**

・阿武隈川弁天地区大規模側帯事業について



▲水害対策の徹底を



▲コロナ禍でキャンプ需要が多い為、リニューアルを検討してみては



## 問 福島県沖地震の被害状況は

### 答 本庁舎議場の一部の落下他

菅野 健治  
議員  
(無所属)

**問** 令和4年3月16日に発生したM7.4の地震は福島県で最大震度6強の揺れを観測し、本市でも5強が観測された。この地震で県内では3人が死亡、245人が負傷し、2万棟以上の住宅が被害を受けた。本市の被害状況は。

**答** 岩根地区公民館の軽運動場内壁破損、白岩分館の会議室天井材落下、五百川小・岩根小の校舎つなぎ目破損、二中学校舎周りの側溝破損、市道13箇所、林道4箇所路面のひび割れ陥没、青田の大河谷池護岸ブロックのひび割れが主な被害である。

**問** 4月の臨時議会で芸能事務所社長の平哲夫氏からの1千万円の寄附を、福島県沖地震の見舞金として提案する補正予算が議決され、その後、庁内で見舞金の協議がされ、支給額を決定するとのことであったが、支給額は決定したのか。

**答** 住家は全壊8万円、半壊4万円、一部損壊2万円。非住家は全壊4万円、半壊2万円一部損壊が1万円とした。寄附者の意向を尊重し、罹災証明を複数交付している場合、最も高い判定区分を用いて一世帯一件の見舞金を支給する。

**問** 災害復興特別見舞金について  
**答** 見舞金分配委員会により決定した

**その他の質問**  
・岳山ふれあいの森、キャンプ場の利用について  
・人口3万人を維持するための施策について



## 問 読書の楽しさを伝えて

### 答 読書活動推進計画に基づいている

石橋今朝夫  
議員  
(みらい創和会)

**問** コロナウイルスの感染拡大で活動が制限されるなかで、図書委員や教職員が読み聞かせをして、子どもの読書意欲に応じたことが、読書量の増加や不読率の低下につながったと見られているが、読書の楽しさを伝える環境整備の考えは。

**答** 子どもの読書環境については、読書活動推進計画に基づいて活動を推進している。施設的环境としては学校図書館などそれぞれの特長、機能を生かして連携、一体化した読書活動を推進している。子どもの読書については非常に重要と考える。

**問** 徹底した指導の考えは  
**答** 適切な栽培管理を求めていく

**問** 2年連続の主食用米作付面積が大幅削減され、飼料用米への転換が急激に進み、面積が増加するなかで、水田周辺の雑草対策がされていない農家が見受けられたが、作付者に対して主食用米同様の栽培管理、徹底した指導の考えは。

**答** 経営所得安定対策等交付金の対象作物となっており、管理不足により雑草の種の飛散やカメムシ発生など、周辺農地への影響があるため、周辺農家の生産意欲の低下を招かないよう、飼料用米作付者に今後も適切な栽培管理を求めていく。

### その他の質問

- ・農地でソーラーシェアリングを行う場合には
- ・医療的ケア児の支援の考えは



▲読書環境の整備がされるしらさわ夢図書館

## 令和4年4月21日 第2回臨時会

### 令和4年度本宮市一般会計補正予算（第1号）などを可決

4月21日に第2回臨時会が開かれ、市長から議案5件が上程されました。議案は、本宮市税条例の一部改正のための専決処分の承認や、本宮駅西口広場整備（第3期）工事請負契約、中央公民館耐震補強改修工事（建築主体・機械設備）請負契約、白岩小学校屋内運動場災害復旧改修工事（建築主体）請負契約の一部を変更する契約、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第1号）であり審議の結果、全会一致で全議案可決しました。

## 令和4年7月6日 第4回臨時会

### 令和4年度本宮市一般会計補正予算（第3号）などを可決

7月6日に第4回臨時会が開かれ、市長から議案3件、議員から発議1件が上程されました。議案は、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第3号）と（第4号）、令和4年度本宮市水道事業会計補正予算（第2号）であり、審議の結果、全会一致で可決しました。議員発議については、衆議院議員選挙制度における地方の実情に合った格差是正方式を求める意見書であり、全会一致で可決しました。なお、意見書の内容は16ページをご覧ください。



**問** 地域農業の担い手支援について  
**答** 認定農業者を中心に支援している

渡辺 忠夫  
議員  
(日本共産党)

**問** 5年ごとの農林業センサスの結果は農業の衰退の流れが更に加速し担い手の一層の激減が不可避であることを示している。自分の代で終わりたいということにならないよう、支援すべきと思う。また、耕作放棄地解消の手立てはあるのか。

**答** 担い手の支援は本宮市認定農業者への機械購入の補助。米つくりパワーアップ支援事業では、堆肥の配布を行い支援している。遊休農地対策は多額の費用をかけての再活用よりも、新たな遊休地を増やさない取り組みを進めていく考えである。

**問** 均等割免除の年齢引き上げを

**答** 均等割免除は国がやるべきもの

**問** 今回、国が国保税の子どもの均等割の免除を予算化した。自治体での取り組みの中で、国の未就学児だけが対象なので18歳まで年齢を引き上げて実施するという自治体も出てきていると聞く。この際、年齢を引き上げるべきと思うが。

**答** 国保税については多額の財政支援をし、また、基金を積んでいる。本年度一人当たり8,273円引き下げた。子育て支援としての免除年齢の引き上げや、均等割の免除は国が行うべき。

#### その他の質問

- ・ 農機具の修理費に対して補助してはどうか
- ・ 学校給食費の保護者負担の軽減について



▲農家が減らないように担い手の支援を

## 政務活動費の使い道をお知らせします！

令和3年4月から令和4年3月までの政務活動費の使途は次のとおりです。

政務活動費は議員1人当たり月額1万円の交付を受けることができ、今回は令和3年4月から令和4年3月までの1年分の使い道についてお知らせします。

視察先や購入図書について、より詳しい内容をご覧になりたい場合は、ホームページをご覧になるか議会事務局までお問合せください。なお、差引残金は市の一般会計に返還しています。

### 会 派

会 派 名 (人数)	みらい創和会 (4人)	新 風 会 (4人)	志 誠 会 (3人)
収 入	480,000円	480,000円	360,000円
調 査 研 究 費 (a)	0円	0円	0円
研 修 費 (b)	0円	0円	0円
広 報 費 (c)	0円	0円	0円
広 聴 費 (d)	0円	0円	0円
要請・陳情活動費 (e)	0円	0円	0円
会 議 費 (f)	0円	0円	0円
資 料 作 成 費 (g)	0円	0円	0円
資 料 購 入 費 (h)	5,170円	15,928円	0円
支出合計 (a～hの合計)	5,170円	15,928円	0円
途 中 精 算 金	0円	0円	50,000円※
差引残金 (収入-支出合計)	474,830円	464,072円	310,000円

### 議 員

議 員 名	馬場 亨守	三瓶 幹夫	菅野 健治	渡辺 秀雄
収 入	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円
調 査 研 究 費 (a)	30,450円	30,450円	38,078円	30,450円
研 修 費 (b)	0円	0円	0円	0円
広 報 費 (c)	0円	0円	0円	0円
広 聴 費 (d)	0円	0円	0円	0円
要請・陳情活動費 (e)	0円	0円	0円	0円
会 議 費 (f)	0円	0円	0円	0円
資 料 作 成 費 (g)	0円	0円	0円	0円
資 料 購 入 費 (h)	0円	1,210円	81,922円	25,702円
支出合計 (a～hの合計)	30,450円	31,660円	120,000円	56,152円
途 中 精 算 金	0円	0円	0円	0円
差引残金 (収入-支出合計)	89,550円	88,340円	0円	63,848円

# 政務活動費報告

## 議員

議員名	伊藤 隆一	作田 博	国分 勝広	渡辺 善元
収入	120,000円	120,000円	100,000円	120,000円
調査研究費(a)	30,450円	30,450円	30,450円	30,450円
研修費(b)	0円	0円	0円	0円
広報費(c)	0円	0円	64,330円	0円
広聴費(d)	0円	0円	0円	0円
要請・陳情活動費(e)	0円	0円	0円	0円
会議費(f)	0円	0円	0円	0円
資料作成費(g)	0円	0円	0円	0円
資料購入費(h)	22,242円	22,457円	5,220円	0円
支出合計(a～hの合計)	52,692円	52,907円	100,000円	30,450円
途中精算金	0円	0円	0円	0円
差引残金(収入-支出合計)	67,308円	67,093円	0円	89,550円

※会派の人数変更による精算金

志誠会：収入360,000円－途中精算50,000円（10,000円×5ヶ月×1人）＝310,000円

## 令和4年度の交付状況

会派または議員名	人数	交付金額
みらい創和会	4人	480,000円
新風会	4人	480,000円
志誠会	2人	240,000円
馬場亨守	1人	120,000円
遠藤初実	1人	120,000円
三瓶幹夫	1人	120,000円
菅野健治	1人	120,000円
渡辺秀雄	1人	120,000円
渡辺善元	1人	120,000円
伊藤隆一	1人	120,000円
作田博	1人	120,000円
国分勝広	1人	120,000円

**政務活動費**…地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究等の活動の経費として交付するもの。本市では、「本宮市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、平成25年度から会派または議員は、1人当たり月額1万円、年額12万円の交付を受けられるようになっていました。また、「本宮市議会政務活動費の取扱いに関する要綱」を定め、政務活動費の使途基準を明確にしています。

# 「衆議院選挙制度における地方の実情に合った格差是正方式を求める意見書」を提出

7月臨時会において、発議第6号が可決されたことを受け、国に対して意見書を提出しました。意見書の内容については以下のとおりです。

衆議院小選挙区選出議員の選挙区については、令和4年6月16日、衆院選挙区画定審議会が小選挙区定数を10増10減し「1票の格差」を是正する区割り改定案を岸田文雄首相に勧告した。

今回の区割り案は、過去最高となる25の都道府県140選挙区が対象であり、令和2年国勢調査に基づき、人口比を反映しやすいとされる議席配分「アダムズ方式」で算出された。福島県は改定後1減となり全区が再編され、本市は現在の2区から改定後は新1区と区割りが変更となる地域である。

本市は、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故、令和元年東日本台風や令和3年2月13日福島県沖地震など、度重なる災害に見舞われ、国・県をはじめ国内外から多くのご支援のもと現在も復旧・復興に努めているが、実情に即した支援の継続が求められる。

現在の区割りで1票の格差が2倍以上の選挙区が改定により解消されることは、法の下での平等の観点から尊重すべきことである。しかしながら、特に少子高齢化が進み人口減少が止まらない地方においては、実情を熟知する国会議員の比率が低くなることは我々の声が国政に反映されにくくなり、地方創生の時代に逆行するのではないかと危惧するものである。また、再編についても、経済圏や文化などの違いもあり、単なる行政区の括りには、地域の一体性に欠き歴史的な配慮も感じられないものである。

よって国及び政府においては、今回の衆議院議員小選挙区選挙の選挙区改定に伴い、人口減少が止まらないわが国では、選挙のたびに区割り変更がおきる可能性があるため、地方の意見が十分反映され実情に合った格差是正方式となる抜本的な選挙制度改革の議論が行われるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣

次回**9月議会定例会**は**9月1日**に開会予定です。  
**請願・陳情**の締め切りは**8月22日(16時まで)**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。  
問い合わせ TEL 24-5435

## インターネット中継をご覧になった感想をお聞かせください！



議会中継をご覧になった感想は左記QRコードから書き込みができます。  
なお、議会中継は録画でもご覧いただけますのでぜひご覧ください。

### あ と が き

新型コロナウイルスに加えウクライナ問題や円安・物価高騰など様々な困難な社会情勢の中、経済活動も低下しこれからの社会に不安を抱えている方も少なくないと思います。このような時にこそ市民のみなさまと我々議会・市が一丸となり、子ども達の幸せな未来を守るため、この難局を乗り越えるべく知恵を出し合い行動していかなくてはならないと感じています。

(菊田)

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長	発行責任者
渡辺	国分	三瓶	菊田	根本	磯松	石橋	斎藤	三瓶	三瓶
善元	勝広	幹夫	利嗣	俊彦	朝彦	雅彦	裕司		